解　説

第20章　　　医療・衛生・環境

医療施設数、病床数

病院数、病床数ともに減少、一般診療所数は増加

　医療施設調査によると、令和4年10月1日現在の病院数は506施設(一般467施設、精神39施設)で、前年に比べ3施設減少しました。

一般診療所は8,821施設、歯科診療所は5,468施設で、前年に比べ一般診療所は141施設、歯科診療所は26施設、それぞれ増加しました。

病床数は10万4,010床で、前年に比べ70床減少しました。

 病院数、病床数

[第20章1表より]

死因別死亡数

4人に１人はがんで死亡

　人口動態統計によると、令和4年中の死亡数は10万6,277人で、戦後の調査（昭和22年）以降初めて10万人を上回りました。最も多い死因は悪性新生物(がん)で2万6,901人(構成比25.3%)、次いで心疾患(高血圧性を除く)1万7,394人(同16.4%)、老衰9,156人(同8.6%)で、これらで全死亡数の半数以上を占めています。

平成17年から令和3年までは肺炎が脳血管疾患を上回っていましたが、令和4年では、脳血管疾患が肺炎を上回っています。

 主な死因別死亡数

[第20章15表より]

感染症・食中毒・結核

新型コロナウイルス感染症の患者数が大幅に増加

大阪府健康医療部によると、令和4年の感染症(『全数把握』のもののみ)・食中毒・結核の患者総数は235万1,495人で、前年に比べ217万4,272人(1226.9%)増加しました。

類型別では、新型コロナウイルス感染症が234万7,380人(前年比217万3,589人、1250.7%増)がそのほとんどを占め、結核は1,118人(同53人、4.5%減)、食中毒は222人(同206人、48.1%減) と、いずれも減少しました。しかし、梅毒は1823人(同959人、111.0%増)と大幅に増加しました。

 新型コロナウイルス感染症患者数

 感染症・食中毒・結核患者数 (新型コロナウイルス感染症除く)

[第20章17表より］

ごみ処理

排出総量は減少

　大阪府環境農林水産部によると、令和3年度のごみの排出総量は293万ｔで、前年度に比べ2万1千ｔ(0.7%)、10年前(平成23年度)に比べ52万5千ｔ(15.2%)、それぞれ減少しました。

資源化された量は38万9千ｔ、リサイクル率は13.3%で前年度に比べ0.1ポイント減少しましたが、10年前と比べると1.2ポイント増加しました。

 ごみの排出総量、リサイクル率

[第20章20表より]